

2015年8月10日

## 中国人観光客誘致の取り組みについて

愛知県上海産業情報センター  
安田 龍

### 1 2015年の訪日旅行市場動向

日本の皆さんにとって、今年の中国における春節シーズンには、中国からの訪日旅行者による「爆買い」が大きな話題になったことは記憶に新しいところだと思います。

日本政府観光局（以下、J N T Oという）が2015年2月に中国全土の主要な訪日取扱旅行会社109社を対象として実施した中国訪日旅行市場動向調査結果によると、昨年と比較して今年自社の訪日旅行取扱人数がどうなるかという質問に対し、同程度と回答した1社を除き、108社が増加すると回答し、減少すると回答した会社はゼロだったとのことです。

実際、2014年の訪日中国人旅行者数の240.9万人でしたが、J N T Oの推計値によると、2015年1月から6月までの上半期だけで約218万人と昨年の年間実績に迫る勢いで推移しており、国・地域別でも昨年上半期は台湾、韓国について3位でしたが、今年は1位となっています。

また、2015年上半期の在上海総領事館における査証発給件数は、暫定値で約79万件であり、前年同時期の約35.8万件に対して120.7%増となっているとのことです。こちらも年間では、昨年の年間発給件数87.4万件を大きく上回ることは確実な状況となっています。

このうち、団体観光査証は約36万件で対前年同時期102.7%、個人観光査証は約34.9万件で対前年同時期226.7%となっています。団体観光査証については、一定のクルーズ船に対するビザ免除の影響もありますが、特に個人観光査証が伸びていることが上海を中心とする華東地域の特徴であると言えます。

前記のJ N T Oによる調査結果の今年の傾向として、3点挙げられています。

まず1点目は旅行会社が販売に注力する目的地として、以前の東京と関西を結ぶゴールデンルートへの1極集中から北海道との2極化が進んでいることです。

次に2点目は、ゴールデンルートと北海道に加えて、沖縄、東京、さらに関西、九州も加えた6地域について、旅行会社の2社に1社以上が販売に力を入れていきたいと回答しており、ツアー商品の多様化が進んできています。

ちなみに、愛知県を含む中部・北陸に対して販売に力を入れていきたいと回答した旅行会社の割合は40%となっています。また、中部・北陸を中心とした昇龍道について、旅行会社の認知度は72%となっていますが、実際商品を販売したことがある旅行会社は40%となっており、さらにPRを重ねていく必要があるようです。

最後3点目は、訪日旅行のテーマとして、以前は桜、温泉、ショッピングが不動の3大テーマでしたが、今回は美食が温泉と並んで2位になり、旅行テーマも多様化が進んできています。今後、愛知県でも「なごやめし」を中心とした特色ある料理を意識してPRしていく必要があるようです。

## 2 愛知県への中国人観光客誘致に向けた本センターの取り組み

このように中国からの訪日旅行者が増加していることを受けて、上海産業情報センターでは、本県への観光客誘致に向けた様々な取り組みを行っています。

まず、訪日旅行を取り扱う旅行会社や航空会社を訪問し、愛知県や昇龍道に関する情報提供や訪日旅行に関する情報収集を行っています。また、昇龍道のモデルコースを紹介しながらツアー造成の依頼や旅行会社から希望があれば、社員向けの勉強会も開催しています。

最近、旅行会社を訪問した際に挙げられた愛知県に対する主な意見は以下の2点です。

1点目は日本全体的な傾向ではありますが、宿泊先、バス、現地ガイドの手配が難しくなっているということです。特に、現地ガイドは、これまで中国人団体旅行は東京大阪間のいわゆるゴールデンルートが中心であり、精通している現地ガイドも多数いるが、昇龍道ツアーを実施するために必要となる中部に精通している人は少ないという問題があるようです。

この点については、設備投資や人材育成と関わるため、今後の市場動向も見据える必要があるため、一朝一夕に解決することは難しい課題ではありますが、増加している外国人観光客誘致のためには避けて通れない課題となって来ていると思います。

もう1点はJNTOの調査結果にもあるとおり、昇龍道について旅行会社としては知っているが、一般消費者までは認知度が低く、ツアーを造成してもなかなか集客できず催行まで至らないケースが多いということです。

この点については、本センターでは昨年11月に日本旅行専門雑誌社と連携した読者会の開催したほか、定期的に展示会へ出展し、一般消費者へ愛知県の観光パンフレットを配布やモデルコースを紹介することにより、愛知県の名前や観光地を覚えてもらえるようPRに努めています。

上海産業情報センターでは、今後も中国人観光客誘致について、情報提供していきたいと思えます。

本資料は、参考資料として情報提供を目的に作成したものです。  
上海産業情報センターは資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力していますが、その正確性を保証するものではありません。  
本情報の採否は読者の判断で行ってください。  
また、万一不利益を被る事態が生じても当センター及び愛知県等は責任を負うことができませんのでご了承ください。